

市民意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

件名	第二次山陽小野田市総合計画（基本構想及び基本計画の素案）	
意見募集期間	平成29年9月15日（金）～平成29年10月10日（火）	
公表した資料	第二次山陽小野田市総合計画（基本構想及び基本計画の素案）	
意見の件数	1人	11件

意見の概要と市の考え方等

- 1 基本構想の素案について（なし）
- 2 基本計画の素案について（1人・11件）

項目	意見の概要	市の考え方又は対応
前期基本計画の位置付け	「重点プロジェクト」を述べる前に、「前期基本計画」の位置付けを述べておくことが必要ではないか。	基本構想の部分で基本計画についての説明を行っておりますが、前期基本計画の位置付けが分かりやすくなるよう、説明を加えます。
重点プロジェクトの位置付け	重点プロジェクト及び重点施策の位置付けを明確にすべきである。	重点プロジェクトの位置付けが分かりやすくなるよう、説明を加えます。
第6章の位置付け	第6章についてもその位置付けを冒頭に言及しておくべきである。	基本構想の部分で基本計画についての説明を行っておりますが、第6章の位置付けが分かりやすくなるよう、説明を加えます。
基本計画の構成	「前期基本計画」の構成（考え方）を冒頭に述べておくことが大事である。	基本計画の構成について、基本計画の見方を含めた説明を加えます。
「目標指標」及び「評価指標」の考え方	「目標指標」と「評価指標」の関連付けが不明確である。	「目標指標」及び「評価指標」の考え方について、冒頭部分に

	明確にする必要がある。	説明を加えます。
基本計画の表題等	この素案の第3編は前期基本計画を述べており、この冊子の表題を「第二次山陽小野田市総合計画（前期計画版）」などとし、更に作成年月日を記載してわかりやすくすべきであるとする。表題は中期、後期を作成する都度、明確に区別できるものにするべきとする。	冊子として体裁を整える際には、全体として第二次総合計画として構成するため、基本計画が前期であることを基本計画の表題部分に記載しています。また、冊子の表題部分に作成年月を記載します。
評価指標「防災メール登録件数」（63ページ）	評価指標としている「防災メール登録件数」について、メール配信の正確性が重要であり、メール配信内容の空振りも多く信用性が失われる可能性が大きいと思う。	多くの市民の皆さんに防災上の情報を正確かつ迅速に伝えることが重要であり、気象庁から発表される気象情報に基づき、避難勧告の発令等について、今後も適正かつ迅速な情報発信に努めてまいります。
評価指標「DV相談対応件数」（74ページ）	評価指標としている「DV相談対応件数」の前期目標値について、DV相談が増えることを期待している。対応率とすべきである。	人に話しづらいDV被害について、相談窓口の周知や相談しやすい体制を整え、ひとりで悩みがちなDV被害者をひとりでも多く救済していくということで、相談対応件数としています。
評価指標「環境展参加者数」（77ページ）	環境展参加者数をもっと増やす工夫をすべきである。	環境展には多くの様々な方に御参加いただきたいと考えています。御意見のとおり工夫して参加者を増やすように努力します。

<p>評価指標「温室効果ガス排出量の削減」(81ページ)</p>	<p>評価指標としている「温室効果ガス排出量の削減」の現状値及び前期目標値の基準がわからない。</p>	<p>御意見のとおり、現状値及び前期目標値の基準がわからないことから、「指標」を「温室効果ガス排出量」に変更し、「前期目標値」の数値を変更します。</p> <p>また、「説明」の欄に、対象施設を記載します。</p>
<p>用語の解説「経済センサス」(105ページ、109ページ、114ページ、115ページ)</p>	<p>目標指標「市内事業所数」の説明にある「経済センサス」が分かりづらい。</p>	<p>統計法に基づく基幹統計の一つである「経済センサス」について、分かりやすくするため、用語の説明を加えます。</p>